

マドリーム通信

マドリッド日本人学校
Colegio Japonés de Madrid
文責 小谷 悠輔
令和7年3月5日 NO.11

1年を振り返る ～成長する子どもたちの姿～

はやいもので、令和6年度も残り2週間となりました。4月に出会った子どもたちは、1年を経て心身ともに成長を感じます。また、年度途中で編入してきた子どもたちも、すぐに学校に馴染み、楽しい学校生活を送ることができました。

子どもたちは学校生活を通じて、たくさんのことを学んでいます。授業で新しい知識や考え方を得ることはもちろん、それと同じくらい社会性を学んでいます。学校は「社会の縮図」と言われています。社会にはさまざまな人がいる中で、その人たちとどう関わり、人生を豊かにしていくかが大切です。本校には、日本から来た子どもたち、スペインで生まれ育った子どもたちなど、さまざまなバックグラウンドを持つ子どもたちがいます。もしかすると、物事の見え方もお互いに異なることもあるかもしれません。そんな中で、相手の考え方を受け入れ、違いを尊重することを学んでいます。それが、真の国際感覚を持つ人々の基盤となると考えています。来年度も子どもたちが大きく成長することを期待しています。

スペインの食文化 ～三浦深雪さんと学ぶ～

2月14日には、スペイン在住の料理研究家三浦深雪（みうらみゆき）さんが来られました。スペイン語活動の時間にスペイン料理「パン・コン・トマト」の調理実習と、スペインの食文化についての授業をしていただきました。とても楽しい雰囲気でお話くださり、トマトが苦手だった子も「おいしい！」と言って食べていました。



楽しさを実感！ ～狂言ワークショップ～

2月3日には、狂言の名手・田賀屋 夙生（たがやはやお）さんが来られました。全校児童生徒を対象に狂言のワークショップを開催していただきました。6年生では「柿山伏」という演目を学びますが、その中から1シーンを実際に演じ、狂言特有の言い回しを教えてくださいました。子どもたちもその後、実際に演じてみる体験をしました。下の学年の子たちも狂言の楽しさを体験し、「狂言って楽しい！」という声がたくさん聞かれました。



マラソン大会 ～全力で走り抜けた子どもたち～

2月6日には毎年恒例のマラソン大会が開催されました。本年度は、例年のコースが学校裏の建築工事の関係で当日に変更となりましたが、子どもたちは自分の限界に挑戦する気持ちで一息懸命走り抜くことができました。当日は天候にも恵まれました。また、たくさんの保護者の方々にもお越しいただき、温かい応援に包まれた中で、子どもたちのやりきった笑顔がとても輝いていました。多くの保護者の方々のご参観、ありがとうございました。



「空育」

～整備士の世界とは～

2月17日に JAL の職員でフランクフルト在住の整備士細野駿(ほそのしゅん)さんに「空育」の授業をしていただきました。整備士の仕事について、クイズを交えながら、子どもたちへのわかりやすい説明や、整備士になるために必要なことについてのお話がありました。資格は飛行機の種類ごとに取得しなければならないことや、確実に確認を行うための工夫など、貴重なお話をしてくださいました。子どもたちも興味を持ったのか、質疑応答の時間には目を輝かせて活発に質問する姿が見られました。



サルスエラと日本の歌

～素敵なお舞台に感謝～

2月27日には、日本から桜田ゆみさんと小野勉(おのつとむ)さんが来てくださいました。1部はサルスエラ「かぐやひめ」を上演していただきました。サルスエラは、スペインの歴史や文化、暮らし、ユーモア、そしてスペイン気質がすべて詰まった総合舞台芸術です。お二人の圧倒的な演技力とユーモアあふれる演出に、子どもたちはどんどん引き込まれていきました。舞台背面には日本で収録された役者さんの映像が映し出され、その映像と対話しながら演じられました。2部では、ジブリなどの日本の歌をみんなで歌いました。何人かの児童生徒は仮装して盛り上げてくれました。きっと今回の経験が、来年度の文化祭にも生かされることでしょう。



3月の予定

		行事等
1	土	
2	日	第三回英語検定(2次)
3	月	全校集会
4	火	卒業生を送る会
5	水	給食あり 中学部キャリア講話
6	木	
7	金	
8	土	
9	日	
10	月	
11	火	卒業式予行
12	水	給食あり 卒業式全体練習・準備
13	木	卒業式 12:00下校
14	金	修了式 離任式 12:00下校
15	土	
16	日	
17	月	
18	火	
19	水	
20	木	
21	金	
22	土	
23	日	
24	月	
25	火	
26	水	
27	木	
28	金	
29	土	
30	日	
31	月	

